※本安全性要約書は 2014 年時点の情報に基づき作成されています。それ以降に安全性情報が更新されている場合がございますので、最新の情報につきましては本製品の購入先経由で SDS を入手してご確認ください。

作成:2014 年 2 月 12 日

三井化学

GPS 安全性要約書

タケネート® 600

この GPS 安全性要約書は、化学産業界の自主的化学物質管理の取組み (GPS : Global Product Strategy) に基づいて、弊社が製造する化学製品の安全な取り扱いに関する概要を提供することを目的としています。 ヒト健康や環境への影響あるいはリスク評価の詳細、法規制情報や分類・ラベル情報等の専門的な情報を提供するものではありません。また、弊社が発行する安全データシート (SDS) に代わるものではありません。 本製品のお取り扱いに際しては、弊社が発行する SDS をご確認下さい。

記載内容は、現時点で入手できる法令、資料、情報およびデータに基づいて作成しておりますが、品質など、いかなる保証をするものではありません。

1. 物質の特定 (Chemical statement)

物質の特定	説明
三井化学の製品名	タケネート® 600
化学名 (別名)	ビス (イソシアナトメチル) シクロヘキサン
濃度 (%)	100
CAS 番号	42170-25-2
分子式	$C_{10}H_{14}N_2O_2$
構造式	$OCNCH_2(C_6H_{10})CH_2NCO$
官報公示整理番号	化審法: 既存

2. 物質の概要 (General statement)

タケネート® 600 は、無色の粘性のある液体です。 刺激臭があります。 水と反応して二酸化炭素を発生します。 ビス (イソシアナトメチル) シクロヘキサンの一般的用途には塗料用樹脂原料などがあります。

タケネート® 600 は飲み込むと有害です。 吸入すると生命に危険を及ぼします。 皮膚に刺激があり、アレルギー性皮膚反応を起こす恐れがあります。 また目に対し強い刺激性があります。 また、予測結果からは、長期に吸入し続けると、呼吸器系に障害を起こす可能性があると予想されます。

タケネート®600 の環境影響に関する知見はありません。 しかし、加水分解物の ビス(ア

ミノメチル)シクロヘキサンの予測結果によると、水棲生物に対してわずかに有害性を示す可能性があり、また環境中に残留する可能性がありますが、生体内に蓄積する可能性は低いと予想されます。

作業者がタケネート®600 を使用する際には、ミストが発生しないように管理して下さい。ミストが飛散する環境では、局所排気装置を設置するなどして、十分に換気を行って下さい。ACGIH (米国産業衛生専門家会議) や日本産業衛生学会は作業環境許容濃度の勧告値を定めていません。 作業環境濃度が高い場合はその濃度に応じて、防塵マスクまたは電動ファン付き呼吸保護具を装着して下さい。 マスクは、オイルミストに適応できる RL または DL シリーズから、捕集効率は 99.9 % 以上のものを選択して下さい。 さらに高い作業環境濃度での飛散が想定される場合には、送気マスクや自給式呼吸器の装着を考慮して下さい。付着すると有害性の高い物質が吸収されます。 皮膚への暴露を最小限とするような作業服、防護服を検討して下さい。

タケネート®600 は、消費者用途が無いため、一般消費者へのばく露の可能性はきわめて低いと予想されます。

環境への影響を最小化するために、タケネート®600 またはこれを含む製品および製品の残留物を河川、水路、下水溝などに流さないで下さい。

3. 製品情報 (Product information)

タケネート® 600 は、ウレタン樹脂原料などに使用されています。 ビス (イソシアナトメチル) シクロヘキサンの一般的用途には塗料用樹脂原料などがあります。

(出典 : nite 暴露情報 http://www.safe.nite.go.jp/japan/sougou/view/ComprehensiveInfoDisplay_jp.faces)

この製品に関する詳しい情報については以下にお尋ね下さい。

三井化学株式会社 https://www.mitsuichem.com/contact/safety/

4. 物理化学的特性 (Physical / Chemical properties)

タケネート® 600 は、無色の粘性のある液体です。 刺激臭があります。 水と反応して二酸化炭素を発生します。

特性	説明
外観	液体
形状	粘稠
色	無色
臭い	刺激臭
pH	知見なし
融点	- 50 ℃

沸点	268 ℃
引火点	159 ℃ (通常の温度範囲では引火しない)
発火点	知見なし
蒸気圧	3.47 kPa (180 ℃)、1.67 kPa (160 ℃)、 0.2 Pa (25 ℃) （通常の温度では、ほとんど揮発しません）
比重	1.1 (水より重い)
水溶解性	知見なし (溶媒に可溶) 水と反応し、二酸化炭素を発生します タケネート® 600 の加水分解物であるビス(アミノメチル)シクロヘキサンの予測結果* (8.89×10^4 mg/ℓ) より、水に極めて溶けやすいと考えられます

*: 類似化合物情報に基づく類推や、構造活性相関モデルによる推算値で、弊社が発行する SDS の内容とは必ずしも一致しません

5. ヒト健康影響 (Health effect)

タケネート® 600 は飲み込むと有害です。 吸入すると生命に危険を及ぼします。 皮膚に刺激があり、アレルギー性皮膚反応を起こす恐れがあります。 また目に対し強い刺激性があります。 また、予測結果からは、長期に吸入し続けると、呼吸器系に障害を起こす可能性があると予想されます。

影響	説明
急性毒性 (経口) (吸入)	飲み込むと有害です 吸入すると生命に危険を及ぼします
皮膚腐食性・刺激性	皮膚に刺激があります
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	眼に対し強い刺激があります
感作性 (呼吸器) (皮膚)	分類できません アレルギー性皮膚反応を起こす恐れがあります
生殖細胞変異原性	分類できません (但し、類似試験の予測結果*より、遺伝性疾患が生じる可能性は低いと推測されます)
発がん性	分類できません
生殖毒性	分類できません
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できません

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できません (但し、予測結果*からは、長期に吸入し続けると、呼吸器系に障害を起こす可能性があると予想されます)

*: 類似化合物情報に基づく類推や、構造活性相関モデルによる推算値で、弊社が発行する SDS の内容とは必ずしも一致しません

6. 環境影響 (Environmental effect)

タケネート®600 の環境影響に関する知見はありません。 しかし、加水分解物の ビス(アミノメチル)シクロヘキサンの予測結果*によると、水棲生物に対してわずかに有害性を示す可能性があり、また環境中に残留する可能性がありますが、生体内に蓄積する可能性は低いと予想されます。

環境有害性	説明
水生環境有害性	知見がありません (但し、加水分解物の予測結果* からは、水棲生物に対してわずかに有害性を示す可能性があると予想されます)
大気環境有害性	知見がありません

環境中の運命・挙動	説明
環境中の移行性	知見がありません
生分解性	知見がありません (但し、加水分解物は環境中に残留する可能性があります)
生物蓄積性	知見がありません (但し、加水分解物の予測結果*からは、生体内に蓄積する可能性は低いと予想されます)

*: 類似化合物情報に基づく類推や、構造活性相関モデルによる推算値で、弊社が発行する SDS の内容とは必ずしも一致しません

7. 推奨するリスク管理措置(Risk management recommendations)

タケネート®600 を使用する際には、SDS または取扱説明書に従い、以下のリスク管理措置をとることを推奨します。 これらリスク管理措置をとることで、作業者および環境のタケネート®600 に対するリスクは管理できると考えられます。

対象	リスク管理措置

作業者	・ミストが発生しないように管理して下さい。ミストが飛散する環境では、局所排気装置を設置するなどして、十分に換気を行って下さい。 ACGIH (米国産業衛生専門家会議) や日本産業衛生学会は作業環境許容濃度の勧告値を定めていません。 作業環境濃度が高い場合はその濃度に応じて、防塵マスクまたは電動ファン付き呼吸保護具を装着して下さい。 マスクは、オイルミストに適応できる RL または DL シリーズから、捕集効率は 99.9 % 以上のものを選択して下さい。 さらに高い作業環境濃度での飛散が想定される場合には、送気マスクや自給式呼吸器の装着を考慮して下さい。 ・付着すると有害性の高い物質が吸収されます。 皮膚への暴露を最小限とするような作業服、防護服を検討して下さい。 ・作業管理者は作業者に対し、適切な保護具の選択および使用方法、また作業場の管理方法を教育して下さい ・取り扱い場所の近くに目及び身体の洗浄装置を設置して下さい
消費者	タケネート®600 は、消費者用途が無いため、一般消費者へのばく露の可能性はきわめて低いと予想されます。
環境	・製造および加工の過程では、排気・排水設備を設置し、定期的な設備の保守点検を実施して下さい ・タケネート®600 またはこれを含む製品および製品の残留物を河川や水路、下水溝などに流さないで下さい ・漏洩防止対策をして下さい

8. 発行・改定日 (Date of issue / Revision)

2014 年 2 月 20 日発行

弊社ホームページにて、最新の GPS 安全性要約書であることをご確認下さい。

http://www.mitsuichem.com/ps/index.htm

(注 1) GHS 分類: Globally Harmonized System of Classification and Labeling of Chemicals

世界的に調和されたルールに従い、化学品を危険有害性の種類と程度により分類するシステム。

「物質および混合物の分類、表示および包装 (CLP) に関する欧州議会および理事会規則 (EC (No) 1272/2008 annex IV)」に従った分類を採用した。

http://echa.europa.eu/web/guest/information-on-chemicals/registered-substances

作成/改定日	項目	改定箇所	引用 SDS 発行日	版
2014/2/12			2012/12/27	1

GPS 安全性要約書は、ヒト健康や環境への影響あるいはリスク評価の詳細、法規制情報や分類・ラベル情報等の専門的な情報を提供するものではありません。 また、弊社が発行

する安全データシート (SDS) に代わるものではありません。 本製品のお取り扱いに際しては、弊社が発行する SDS をご確認下さい。